

目次

建設機械の性能試験について……………秋 草 勲… 1

東電委託横須賀火力発電所新設工事における……………久保島信弘… 2
けい船岸, 防波護岸工事の概要について

黒四の工事と建設機械……………鈴木藤一郎… 9

アフガニスタンの道路と交通(その1)……………神谷洋…13

八郎潟干拓工事と施工機械について……………日置克己…19

狩野川災害復旧工事について……………中島義美…27

土岩に対する金属の摩耗について(その3)……………大 蝶 堅…33
—衝撃摩耗とハードフェーシング—

海底地質調査用潜水ボーリング装置の一試案……………岡部三郎…39

「ほんやく」
建設機械の原価償却について……………伊藤益雄…41

「誌上アースムービングコンファレンス」No. 4
土工工事—運土作業の基本事項……………石川正夫…45

「技術部会報告」
流体継手の性能試験要領……………トルクコンバー…49
タ技術委員会

[技術部会報告]
建設機械用機関の性能試験報告……………ディーゼル機関…52
性能試験委員会

[支部便り]……………北海道支部…54

ニュース……………(編集部)…55

行事一覧・編集後記……………(桑山・野口)…56

本協会団体会員一覧表

◇表紙写真説明◇

株式会社渡辺製鋼所製

500 PS カッターレスタイプディーゼルポンプ浚渫船

株式会社渡辺製鋼所は作業船の専門メーカーとして各種作業船を建造しているが、表紙写真はさきに八郎潟干拓工事向に完成、目下活躍中の 500 PS カッターレスタイプディーゼルポンプ浚渫船である。

鋼製箱型の台船にとう載した主ディーゼル機関によって駆動される主ポンプ、その他運転作業に必要な一切の装置を設備し、補助機械は一部ディーゼル機関駆動のほかはすべて電動駆動としディーゼル直流電動機により給電される。

本船は船首にサクシヨンパイプおよびゼットパイプを装備したサクシヨン装置を設け、船首、船尾に操縦ウインチを設置し、船体の前後進および左右移動或いはけい船をなし、ラダー尖端部のサクシヨンヘッドからゼットで水底の土砂をかくはん掘削した濃泥水を吸引させ浚渫ポンプを経て船尾中心にあるスイベルジョイント部で水上管と連結し、さらに陸地付近で陸上管と連結し所定の距離に排送したり、または本船両舷側にけい留したバージ内に直接排送する。したがって従来のカッター式浚渫船に比較して作業上構造上種々な異った点がある。

主 要 諸 元

船 名		“双 竜”		製造年月 昭和 33 年 8 月	
主 要 目	主要寸法			吸 入 管 径	500 mm
	長 さ (垂線間)	30 m		ブロック式ゴムジョイント フートバルブ	な し
	幅	9 m		排 送 管 口 径	500 mm および 460 mm
	深 さ	3 m		主 ポンプ 能 力 揚 程	1,800 m ³ /h および 2,500 m ³ /h 38 m/350 rpm 及び 15 m/250 rpm 5 枚
	きつ水	—		主 機 関	600 PS × 360 rpm
	最大浚渫深度(水面下)	15 m		ゼ ッ ト ポ ン プ	口径 200 mm × 1,600 m ³ /h × 30 m × 300 PS × 600 rpm
	公 称 排 送 距 離	1,000 m および舷側けい留バージに排出			
	浚 渫 土 量	約 200 m ³ /h および 400 m ³ /h			